

3

March

らくさん
Vol. 29

STEP TOP 10 NEWS

STEP のあしあと
—無くなる風景—みんな集まれ！
りそな銀行南森町支店
ショーウィンドー前

今日は何の日？

step by STEP NEWS



STEPのあしあと—無くなる風景—

今年度で終了を迎える社会的信頼システム創生センター（STEP）。事務室も看板も活動場所も撤去されて形は無くなれど、STEPの想いはさまざまところで継承されます。もう見ることのなくなる馴染みの風景を思い出に……。

データ解析・ラボ「STRADA」

先生やPD、事務員などSTEPスタッフが集まる事務室も兼ねた研究室。靴を脱いで入るので、アットホームな雰囲気でした。

第3学舎3号館
入口前STEP看板

第3学舎の裏口横に掲げられていたSTEPの看板。割と低い位置に設けられていました。

文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
関西大学 社会的信頼システム創生センター
Research Center for Social Trust and Empowerment Process (STEP), Kansai University

みんな集まれ！
りそな銀行南森町支店ショーウィンドー前
商店街の一角がライブ会場に大変身!!
天神橋筋ローテンションハイテンション!!

南森てんこもり ライブ!! 第39回

2015年3月28日(土)15:00~19:00

オールディース、スタンダード・ジャズ、フォーク、オリジナル曲、セッション

Super Wonder drug / 室津敬一郎 / 柳川豪 / アーダ コーダ / ファンファン

ひょっこりひょうたん・まるおか かずこ / 松島 健
さめしま まさみ with Dear Darlin' / 京子 reggae

今日は何の日?
フツー♪
3月17日
さくらの日

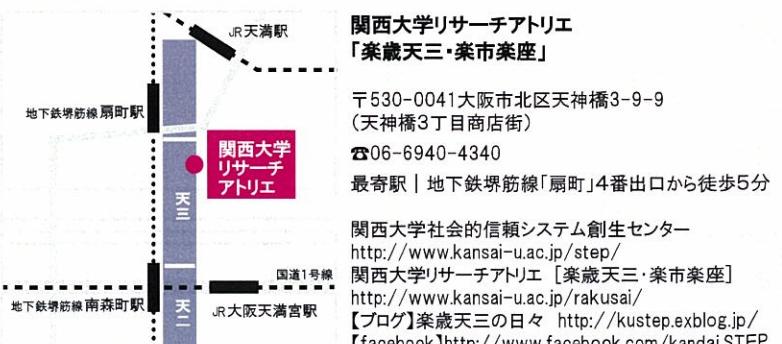
さくらと「3(さ)×9(く)=27」の語呂合わせで、日本さくらの会が1992年に制定。古来、日本と深く関わってきた桜を通して、日本の自然や文化に关心を深めてもらうことを目的としています。日本さくらの会は、学校などへの作植樹を行っています。

関西大学社会的信頼システム創生センター
KANSAI UNIVERSITY Research Center for
Social Trust and Empowerment Process

天神橋筋・中崎町界隈文化マップ
無料配布中

関西大学社会資本計画研究室作成
「天さんを歩こう。」マップ
無料配布中

関西大学リサーチアトリエ最新情報
facebookにて随時更新中





関西大学リサーチアトリエ 楽歳天三・楽市楽座がオープン

2010年7月9日、関西大学社会的信頼システム創生センター(STEP)は、社会連携部と協力し、天神橋筋3丁目商店街内に地域研究・社会連携の拠点となる「関西大学リサーチアトリエ」を設立しました。日本一長い商店街である天神橋筋商店街は、活気ある商店街として注目を集めていますが、高齢化やチェーン店の増加など、その魅力を維持するためには多くの課題もあります。

「関西大学リサーチアトリエ」では、アクションリサーチを展開し、どこに問題があり、どう考えていったらよいか、地域の方々と一緒に持続的に解決方法を探してきました。研究の拠点と地域連携の場が同居することで、「知識と文化のハブ」の役割を果たしていく新たな取組みを展開しました。



奈良県葛城市との連携協定 KU・RENKA

2010年度のSTEP特別プロジェクトの成果として「子ども・若者支援地域協議会」の設置を、奈良県葛城市で実現しました。2011年3月、葛城市とSTEPが連携し、天神橋筋商店街で文化や地域のPRイベント「関大STEP×蓮花花娘応援プロジェクト」を実施、5月には、関西大学と奈良県葛城市が連携協力に関する協定を締結しました。STEP特別プロジェクトの調査研究成果に基づくひきこもり対策事業は、2011年の内閣府モデル事業に認定されました。また、この事業の延長として、学校生活に困難を持った子どものためのレジリエンス支援センター:KU-RENKA(Kansai University, Resilience Network Center in Katsuragi Area)を設置しました。(設置:2013年4月～2015年3月)



りそな銀行前違法駐輪撲滅活動と ショーウィンドー展示

南森町駅3番出口付近は自転車の違法駐輪がひどい場所でした。地域にとって、この対応は大きな負担となっていました。STEPは多くの方々と協同して、りそな銀行ショーウィンドー前の対策を行うことにしました。2011年12月、りそな銀行協力のもと、りそな銀行ショーウィンドーで、人々の興味を惹く素敵な空間作りを試みました。地域の伝統業者による展示物の無償提供、行政が支援する地元有志によって育てられた花の無償提供、地域の設計事務所のCSRの一環として設計案の無償提供などをいただきました。

木製の温もりのあるベンチも設置し、現在では待ち合わせをする人や本を読む人々の姿がみられ、憩いのある公共空間となりました。



商店街のシンボルに 関西大学の大提灯を設置

関西大学リサーチアトリエ前に、2012年6月23日、縦2.2メートル直径1.8メートルの大提灯が掲げられました。天神橋筋2丁目商店街にある参詣道を指示する大提灯と同型・同サイズの提灯を、関西大学リサーチアトリエの前に掲げ、天神橋筋商店街と連携した地域研究・社会貢献拠点のシンボルになりました。

関西大学と天神橋筋商店連合会は、2007年11月、大阪天満宮や天満天神繁昌亭など地域の文化拠点とも連携し、地域全体の活性化を目指す協定を締結しています。提灯の設置にあたっては、大阪市北区天満で1858(安政5)年から続く伝統技術承継事業者である「提灯舗かわい」の協力のもとに、約2ヶ月かけての制作となりました。



回を重ねた防災イベント リアルな傷メイクが話題に

関西大学リサーチアトリエでは、ECCアーティスト専門学校の協力のもと、傷メイクによる実践的な防災の知識を学ぶ防災活動イベントを行いました。

親子を対象に、特殊メイクで作った傷に応急手当を施す応急処置教室を行い、子どもさんに傷メイクを、親御さんにその手当をしてもらいながら防災について学んでいただきました。講習後は、防災に対する備えについてのアンケートを実施し、イベント後に半数以上の家庭で防災グッズを新規に設置するといった改善がありました。

2013年5月には、関西テレビと共同のイベント「イザ!カエルキャラバン! in 北区防災体験プログラム」を行い、100人以上の子どもさんの参加がありました。

STEP TOP 10 NEWS



ガラス発祥の地で新技術を学ぶ 「ガラスおこし体験教室」

関西大学リサーチアトリエでは、「ガラスおこし体験教室」を行いました。(2013年1月～2014年1月:合計7回開催)

「ガラスおこし」とは、廃ガラスを再利用したガラス工芸のこと、大阪名物のお菓子「おこし」に似ていることからこの名がつきました。天満のガラス作家・岡本覚氏が開発した技術で、廃瓶が美しい石鹼置きなどの作品にかわります。関西大学リサーチアトリエの近くにある大阪天満宮には「大阪ガラス発祥之地」の石碑があり、大阪・天満にはガラス製造の歴史がありました。新たな技術によって、廃瓶のガラスが、大阪・天満の新しいガラス工芸品になる「ガラスおこし体験教室」を開催しました。



教育支援ボランティアサークル 「KUPIDO(クピード)」

STEPが支援する教育支援ボランティアサークル「KUPIDO(クピード)」は、大学受験を希望する東日本大震災における被災地の高校生を、関大生がサポートする取り組みです(Kansai University, Program for Inter-district Disciplinary Operation)。2012年7月に岩手県上閉伊郡大槌町と関西大学は連携協定を締結しました。地域連携をより一層推進し、新たな学習のあり方を追求すると同時に、被災地の大学進学率の改善などにも取り組んでいます。2014年1月から、本学学生によるICTを活用した大槌高校への遠隔学習支援を本格的に運用しました。与謝野有紀センター長がプログラム全体のデザインを、高校生への指導方法は外国语学部・田尻悟郎教授が監修を行い、プロジェクトが運営されました。



名作をいつまでも詳細に残す 「淀川今昔明日ものがたり」

淀川をめぐる時を越えた「つながり」「淀川今昔明日ものがたり」では、関西大学秘蔵の約8メートルに及ぶ絵巻物『浪花及淀川沿岸名勝図巻』(大岡春ト作)を日立製作所の超高精細デジタル化技術を用いて映像化し、関西テレビの新施設4K16面マルチ大画面で世界初公開しました。(2014年2月22日～23日:関テレ・扇町スクエア)

「淀川今昔明日ものがたりII」では、モーターパラグライダーによる旧淀川上空から俯瞰した超高精細4K映像をPanasonic最新4K液晶パネルで上映しました。また、AR(拡張現実)の技術を用いたタブレット端末などの体験コンテンツも披露しました。(2014年5月21日～27日:グランフロント大阪北館ナレッジキャピタルThe Lab.2階)



地域のみなさまに支えられ、走り続けてきた5年間。社会的信頼システム創生センター(STEP)は2015年3月31日をもって終了いたします。特に印象に残った活動を、一挙にご紹介いたします。



岩手県大槌町を応援 書道で遊ぶ「墨遊倶楽部」

STEPはこれまで、奈良県在住の書道家今柄紫峯先生を中心として、岩手県上閉伊郡大槌町吉里吉里の仮設集会所で書道教室を行いました。被災地の仮設住宅等における生活不活発病予防のための書道教室「大槌墨遊倶楽部」は、「墨で遊ぶ」新しい創作書道もあり、2014年6月2日には、「オリジナル手まり行燈づくり」を行いました。

書道家としても活動されている原田伸郎さんともご縁があり、大槌墨遊倶楽部作品展示会(2014年6月28日～7月8日関西大学リサーチアトリエ)では、原田さんの書作品の展示もありました。被災地の復興を願って想いを灯す「オリジナル手まり行燈づくり」が、関西大学リサーチアトリエでも行われました。



大阪が誇る幻の名水 天満の水復活プロジェクト

2014年12月3日、大阪天満宮では『天満の名水』復活を祝う「御神水舎完成奉告祭」が行われました。天満の名水復活プロジェクトは、地元商店街店主から井戸水の歴史を聞いた与謝野センター長が、商店街、天満宮の協力を得ながら事業計画を推進し、地盤工学が専門の楠見晴重学長の指揮のもとスタートしました。2011年8月、大阪天満宮の境内で、地下水の試掘作業が始まり、そして、名水復活の地下水が確認されました。

江戸時代、大阪天満宮の境内にある名井「五知の井」は、「大坂4ヶ所の清水」の1つとされ、大名にも供されていました。大阪天満宮、天神橋筋商店連合会、関西大学の連携により名井「五知の井」が復活しました。